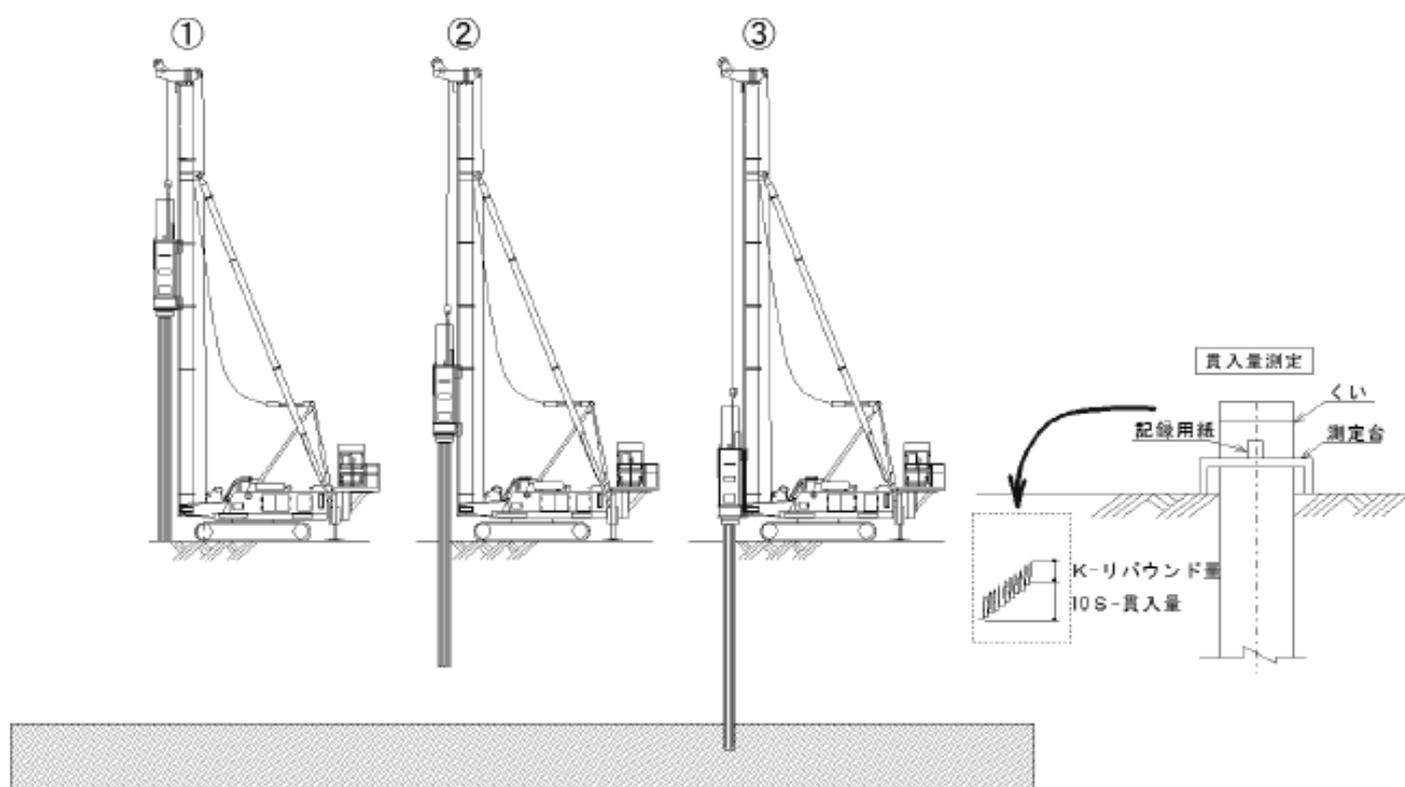


打撃（直打ち）工法

杭頭をドロップハンマ、ディーゼルハンマ、油圧ハンマなどで打撃し支持力を発現させる。施工費が安く経済的であり、また、打込み時の貫入量から支持力の目安を確認できるので信頼性が高い。しかし、打込みによる振動・騒音を伴うほか、打込みにより杭材を損傷することもある。適用杭径は、300～800mm 程度、最大杭長は杭径の 110 倍程度。



- ① 杭心位置に杭を建込み、ハンマキャップを杭頭にかぶせた後、杭の鉛直度を確認する。
- ② ハンマによる打込みを行う。
- ③ 打込み終了前に、記録用紙に杭の貫入量(S)とリバウンド量(K)を測定・記録し、その値から支持力を推定して要求された支持力が得られたら打込みを完了する。